

(社会教育課)

指定管理者による施設運営を行っている県立青少年教育施設2所（朝霧野外活動センター・三ヶ日青年の家）について、外部評価委員会を設置し、その管理運営が健全・安全かつ、適切に行われているか、令和6年度事業の評価を行った。

### (1) 委員構成

| 役職  | 立 場        | 氏 名       | 所 属                   |
|-----|------------|-----------|-----------------------|
| 委員長 | 学 識 経 験 者  | 渋 江 か さ ね | 静岡大学 准教授              |
| 委 員 | 利用者代表 (学校) | 金 子 直 由   | 浜松市立三ヶ日中学校 校長         |
| 委 員 | 利用者代表 (学校) | 松 田 佳 典   | 富士宮市立井之頭小学校 校長        |
| 委 員 | 危機管理専門家    | 楠 城 一 嘉   | 静岡県立大学グローバル地域センター特任教授 |
| 委 員 | 海洋活動専門家    | 鉄 多 加 志   | 東海大学海洋学部 准教授          |
| 委 員 | 野外活動専門家    | 小 林 透     | 日本ボートカウ静岡県連盟 事務局長     |
| 委 員 | 財 務 専 門 家  | 兼 高 則 之   | 公認会計士 兼高会計事務所         |

| 開 催 日 |          | 会 場        | 協 議 内 容                     |
|-------|----------|------------|-----------------------------|
| 第1回   | 5月9日(金)  | 三ヶ日青年の家    | 評価項目・評価方法確認、<br>施設視察及びヒアリング |
| 第2回   | 5月15日(木) | 朝霧野外活動センター | 施設視察及びヒアリング                 |
| 第3回   | 6月6日(金)  | 県庁         | 評価決定                        |

三ヶ日青年の家（詳細は別紙）

【評価の総括】 **A** (R5…A R4…A R3…A)

| 年度  |       | H19～21       | 22                   | 23 | 24 | 25 | 26             | 27 | 28           | 29 | 30           | R1 | 2            | 3 | 4 | 5 | 6 |
|-----|-------|--------------|----------------------|----|----|----|----------------|----|--------------|----|--------------|----|--------------|---|---|---|---|
| 朝霧  | 期     | 第1期<br>(3年間) | 第2期<br>(5年間)         |    |    |    | 第3期<br>(5年間)   |    |              |    | 第4期<br>(5年間) |    |              |   |   |   |   |
|     | 指定管理者 | 日本キャンプ協会グループ |                      |    |    |    |                |    |              |    |              |    |              |   |   |   |   |
| 三ヶ日 | 期     |              | 第1期<br>(3年間+1年間)     |    |    |    | 第2期<br>(3年間)   |    | 第3期<br>(5年間) |    |              |    | 第4期<br>(5年間) |   |   |   |   |
|     | 指定管理者 |              | (株)小学館集英社<br>プロダクション |    |    |    | 三ヶ日フィールドパートナーズ |    |              |    |              |    |              |   |   |   |   |

# 令和6年度 青少年教育施設指定管理者外部評価委員会 評価結果

## ＜三ヶ日青年の家＞

### ◇ 9段階評価ポイント

| 評 価 項 目               |                              | 評価ポイント |       |       |
|-----------------------|------------------------------|--------|-------|-------|
|                       |                              | R6 年度  | R5 年度 | R4 年度 |
| 評 価 の 総 括             |                              | A      | A     | A     |
| 項<br>目<br>別<br>評<br>価 | ① 青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の管理 | A      | A     | A     |
|                       | ② 青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の運営 | A      | A     | A     |
|                       | ③ 青少年の健全な育成を図る事業の運営          | A      | A     | A     |
|                       | ④ 利用者への適切な対応                 | A+     | A     | A     |
|                       | ⑤ 青少年教育施設としての目的にあった活動の展開     | A      | A+    | A+    |
|                       | ⑥ 安全な野外活動実施のための取組について        | A      | A     | A     |
|                       | ⑦ 提案や要望に対する実行状況              | A      | A     | A     |

(参考) 9段階評価ポイントの意味

| 記 号 | 意 味       | その他                              |
|-----|-----------|----------------------------------|
| A   | 十分満足できる   | A B C に対し、必要に応じて＋<br>－の付加記号を付ける。 |
| B   | おおむね満足できる |                                  |
| C   | 努力を要する    |                                  |

### ◇ 評価の総括 【9段階評価 A】

- ・危険箇所や破損箇所について、できる範囲での修繕に努め、安全安心な施設の維持に努めている。
- ・利用者の満足度も高く、職員の対応を評価する声がある。
- ・カッター終了に伴う「代替プログラムの新規開発」に関し、安全性や青少年教育施設としての目的を考慮した海洋活動プログラムが、新規開発されることを期待したい。
- ・令和6年度は、県委託料収入の増加により収入がやや増加し、物価高、人件費増の中で支出増加を収入増加の範囲内に収めたことで、収支差はプラスに転じた。なお、運営会社の財務状態は、特に問題はないと思われる。

### ◇ 要望項目

なし

## ◇ 項目別評価

### ①青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の管理

〔 9段階評価 A 〕

- ・ 青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の管理は、十分満足できるものである。
- ・ 日常的に施設・整備の点検を行い、異常があれば適切に対応している。
- ・ 台風などの自然災害で修繕箇所が多岐にわたり、参加者の安全配慮を考え、優先順位をつけながら必要な都度修繕をしている点は評価が高い。
- ・ 利用者から個別意見があれば、今後も適宜現場対応をお願いしたい。

### ②青少年教育施設として安全・安心に利用できる施設の運営

〔 9段階評価 A 〕

- ・ 利用者からの声や利用者に実施しているアンケートの結果を、職員全体で共有している。それらの声や結果のうち、課題については迅速に対応するよう努めている。
- ・ 開所日の計画や人事・情報管理、食堂業務についても、利用者が安心して施設を使えるように運営努力をしている。
- ・ 各種緊急対応時訓練を計画的に行っている。

### ③青少年の健全な育成を図る事業の運営

〔 9段階評価 A 〕

- ・ 立地を生かした海洋活動や野外活動、新規の自主事業などの施設での活動だけでなく、地域の幼稚園や小中学校の活動を支援するなど、積極的に青少年の育成に取り組んでいる施設は評価できる。
- ・ Web 申込みの導入、SNS を活用した普及活動、広報活動など、利用促進への努力を進めている。
- ・ 南海トラフ地震臨時情報により、中止された事業を別日程で開催したり、新たなプログラムを実施したり、責任をもって事業を運営している。

### ④利用者への適切な対応

〔 9段階評価 A+ 〕

- ・ アンケートによると、利用者の満足度が高い。また、事前打ち合わせや当日の予定変更、緊急対応など、利用者への丁寧かつ親切な対応が見られる。
- ・ アンケートの収集方法を増やすなど、利用者の声を聞き、改善対応しようとする姿勢が感じられる。
- ・ 昨年度、意見が多かった食事の量に関しては改善が見られ、質量共に満足している様子であった。

### ⑤青少年教育施設としての目的にあった活動の展開

〔 9段階評価 A 〕

- ・ 特別支援学校や障がいを持つ利用者に対しても施設を改善し、誰もが自然体験活動が楽しめるようなプログラム開発（雨天プログラムを含む）が進み、展開できる活動が飛躍的に増えている。
- ・ 利用団体と活動の目的を共有し子どもたちに目的に沿った声がけ、価値づけを積極的に行っている。

### ⑥安全な野外活動実施のための取組について

〔 9段階評価 A 〕

- ・ 所に責任のある重大な事故や傷病事例もなく、日頃からの机上訓練、定期的な緊急対応訓練を行うことで、全体的な安全と適度な緊張が保たれることで、海洋はもとより野外を含めて活動が安全に遂行されているように感じる。
- ・ 海洋活動マニュアルも情勢やニーズに応じて改定を行ない、利用者に対して積極的に指導の助言を行なっている。
- ・ 年々指導者の質が向上し、利用者に対しての安心安全を提供できている。

### ⑦提案や要望に対する実行状況

〔 9段階評価 A 〕

- ・ 提案や要望に対し、積極的に適切な対応をしている。
- ・ 陸上プログラム、雨天プログラムについて、独自ルールを考えるなど、開発・改良を進めている点は評価できる。
- ・ カッター終了に伴う代替プログラムについては、安全面を考慮し、海洋プログラムの魅力を伝えられるよう創意工夫していただきたい。